

令和8年度 長野市立長野中学校の適性検査問題の作成方針

1 出題の基本方針

- (1) 小学校学習指導要領を基に、思考力や判断力、表現力等、小学校の学習で身に付けた総合的な力をみるとともに、広い視野や自分の考え方をもって学習することへの適性をみる。
- (2) 社会や身近な地域、生活の中にある事象や課題について、自分の経験や知識で分析し、身の回りの環境や社会に対して積極的に働きかけていくことへの適性をみる。
- (3) 身近な事象について視点を定めて考察し、考えたことや自分の意見を、筋道を立ててわかりやすく説明する力をみる。
- (4) 与えられた文章や資料から、課題となる条件を読み取り、自分の考えや感じたことを表現する力をみる。

2 問題の構成及び主なねらい

【適性検査】(50分)

【問1】 災害に備える備蓄品としての水の量について、1人あたり非常時に必要な1日の飲料用の水の量や、家族4人で7日間に必要な水の量について求める。また、ローリングストックを行うために、計画的に消費する量について、計算や言葉を用いて説明する。さらに、非常食の備蓄について1食分の非常食が入った箱を収納ケースにしまうときに、箱の向きによって入れる箱の個数が変わることを考え、その理由を計算や言葉を用いて説明する。

【問2】 長野市の中山間地域におけるソルガムの栽培とジビエの捕獲・加工に関する複数の資料を読み取り、生産者や消費者の立場で、その良さを説明する。また、SDGsに関連付けてそれらを生産することの地域にとっての意義を説明する。

【問3】 リンゴとヘーゼルナッツを扱った授業の一場面を科学の視点で捉え、考える場面で、登場人物がもった考えや疑問は何か、「調べた結果」や「実験計画」の内容を根拠に説明する。また、電子天秤の使い方に対する正しい理解のもと、砂糖とサラダ油の「体積」と「重さ」の関係について説明する。さらに、問題を解決するために制御する条件について正しく判断する。

【作文】(50分)

【問】

- ・2つの文章を読み、本文中の語句の意味や内容の要点を捉える。
- ・文章に関連する経験についての内容を読み、共通点を説明する。
- ・これまでに「失敗」「課題」「困難」をどのように乗り越えようとしてきたかについて、具体的な場面や出来事を挙げ、その経験から学んだことを説明する。